

●スタートカリキュラムって必要なの？

・2020年度の小学校新学習指導要領全面実施においても、教育課程全体を視野に入れたスタートカリキュラムを編成しましょう。

●スタートカリキュラムって何を準備すればいいの？

- ・まず、合科的・関連的な指導に生かせるよう、生活科を中心とした単元配列表を作成します。
- ・そして、単元配列表を基に、週案を組み立てましょう。
- ・全教職員によるスタートカリキュラムについての共通理解を図ることが必要です。

●昨年度までの週案があるけど使っていいの？

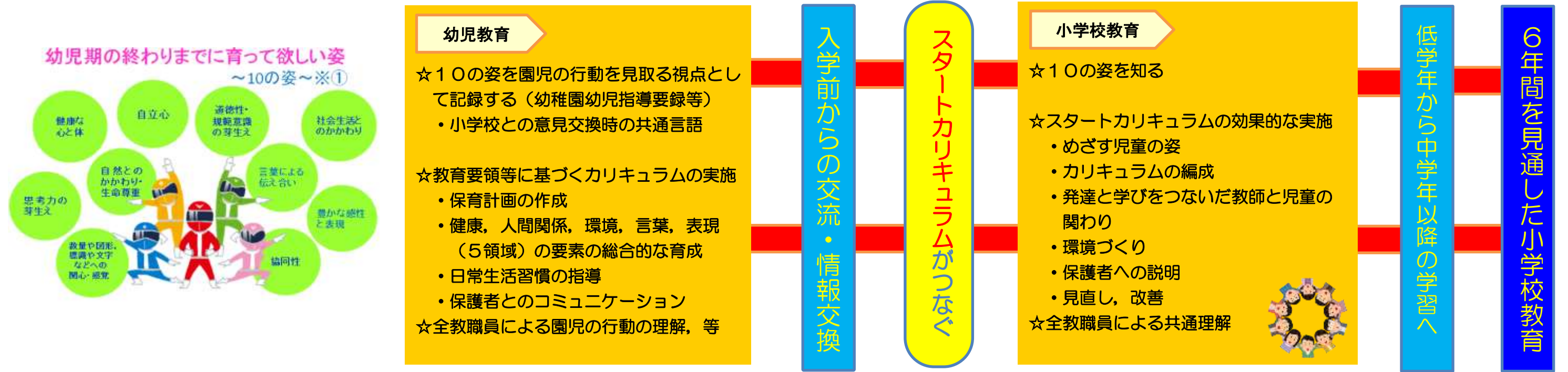
- ・昨年度までのスタートカリキュラムをそのまま実践するのではなく、それを基に、新入児の実態に合ったカリキュラムに改善していきましょう。
- ・誰が担任をしてもスムーズに取り組めるように、前年度中に準備しておくといでしょう。



1 スタートカリキュラムのPDCAのサイクル

<p>P <校内組織を立ち上げて準備する></p> <p>①めざす児童の姿を共有する ②園児の発達や学びの姿を理解する ③スタートカリキュラムを編成する</p>	<p>○入学時の児童の発達や学びの姿には個人差があることを把握する (幼児期の終わりまでに育って欲しい姿～10の姿～) ※①へ (左下)</p> <p>○近隣の園と連携し、園での学び方・保育者の指導の仕方を参考ににする</p> <p>○単元配列表を作成、週の計画と時間配分を考える (年、月) ※②④へ (裏面)</p> <p>○生活科を中心とした他教科との合科的・関連的な指導の工夫を図る ※③へ (裏面)</p>
<p>D <全校の協力体制のもと取り組む></p> <p>④学級担任だけでなく、全教職員で体制を組む ⑤指導内容・指導方法・実施期間を整理する ⑥安心できる学習環境を整える</p>	<p>○発達の特性を生かし、具体的な活動や体験を取り入れた授業を工夫する</p> <p>○園を参考に教室掲示の工夫をする</p>
<p>C <児童の姿・指導の在り方を振り返る></p> <p>⑦ねらいに沿っていたか、指導方法が適切だったか、振り返る ⑧学年の打合せ、職員会議等で、情報交換する</p>	<p>○教職員全体で理解を図る</p> <p>○スタートカリキュラムについて、保護者の理解を得る</p>
<p>A <時期を捉えて反省・検証・改善する></p> <p>⑨長期休業後の学校生活の適応に向けて、夏休み明けの児童への指導に改善点を生かす ⑩スタートカリキュラムの改善のために、週案などの資料をデータベース化し、共有する ⑪1～3月にかけて次年度のスタートカリキュラムの改善を図る</p>	<p>○児童の様子に合わせてスタートカリキュラムの期間を決める</p> <p>○次年度、新担任が参考にできるよう、データとして残し、引き継ぐ</p>

2 園では何をしているの？ 園と小学校とのつながり～違いを知り、つなぐ～ 小学校は何をすればいいの？



第1学年 単元配列表(例) ※②

参考：合科的・関連的な指導とは ※③

——— 合科的な指導

→ 関連的な指導

各教科等	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
国語	あいうえおであそぼう				
算数	なかま ついで かぞ	くらべ よう	10までの かず	なんぼ のめ	いくつ いくつ
生活	がっこうだいすき みんななかよし				
音楽	みんなであそぼう		おんがくにあわせて		
図画工作	すきな もの いろ いろ	しるし マーク	こんな こと あつたよ	ねん で あそ ぼう	すなや ち あそ ぼう
体育	からだ はげ し	あそ ぶ	あそ ぶ	あそ ぶ	あそ ぶ
道徳	げん きに あそ ぶ	あそ ぶ	あそ ぶ	あそ ぶ	あそ ぶ
特別活動	入学式	1年生を迎える会			おしごと体験

	捉え方	タイプ(例)
合科的な指導	各教科のねらいをより効果的に実現するための指導方法の一つで、単元又は1コマの時間の中で、複数の教科の目標や内容を組み合わせて、学習活動を展開するもの	【合科】 生活科を中心とした単元の学習活動において、複数の教科の目標や内容を組み合わせて学習活動を展開することで、指導の効果を高める 生活科 他教科
関連的な指導	教科等別に指導するに当たって、各教科等の指導内容の関連を検討し、指導の時期や指導の方法などについて相互の関連を考慮して指導するもの	【関連A】 生活科の学習成果を他教科等の学習に生かす 生活科 他教科等 【関連B】 他教科等の学習成果を生活科の学習に生かす 生活科 他教科等



スタートカリキュラムの効果的な活用を!

スタートカリキュラムとは、小学校に入学した子供が、幼稚園・保育所・認定こども園等(以下、園とする。)において育まれた学びや育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくための1年生当初のカリキュラムのことです。2020年度に全面実施される小学校学習指導要領には、学校の教育課程においてのスタートカリキュラムの推進が明示されています。

山梨県内においても、幼児教育と小学校教育をつなぐために、多くの学校がスタートカリキュラムを編成し、実施しています。しかし、

- ・編成していない。
- ・編成しているが、活用していない。
- ・活用しているが、児童の実態に合っていない。

といった課題が寄せられています。

このリーフレットは、まだスタートカリキュラムを編成していない小学校にとって、編成の参考となるよう、また、すでに編成している小学校にとっては、より効果的な活用を図るための参考となるように作成しました。

スタートカリキュラムの意義や考え方等について、**全教職員で共通理解**を図り、確実に実施していきましょう。

週案(例) ※④

週案作成のポイント

スタートカリキュラム第2週の週案(例)

	第6日	第7日	第8日	第9日	第10日
日	4/〇(月)	4/〇(火)	4/〇(水)	4/〇(木)	4/〇(金)
朝	「なかまなろう」※ -手遊び -お話を聞いて -歌って踊ろう	「なかまなろう」※ -手遊び -お話を聞いて -歌って踊ろう	「なかまなろう」※ -手遊び -お話を聞いて -歌って踊ろう	「なかまなろう」※ -手遊び -お話を聞いて -歌って踊ろう	「なかまなろう」※ -手遊び -お話を聞いて -歌って踊ろう
ポイント1	「がっこうだいすき みんななかよし」 -自己紹介しよう (国2:3)	「あいうえおであそぼう」 -ひらがな (国2:3)	「あいうえおであそぼう」 -ひらがな (国2:3)	「あいうえおであそぼう」 -ひらがな (国2:3)	「あいうえおであそぼう」 -ひらがな (国2:3)
ポイント2	「くらべよう」 -数を数えよう (算2:3)	「はるのあそび」 -リズムに合わせて 踊ろう (国2:3)	「はるのあそび」 -リズムに合わせて 踊ろう (国2:3)	「はるのあそび」 -リズムに合わせて 踊ろう (国2:3)	「はるのあそび」 -リズムに合わせて 踊ろう (国2:3)
ポイント3	「あいうえおであそぼう」 -ひらがな (国2:3)	「はるのあそび」 -リズムに合わせて 踊ろう (国2:3)	「はるのあそび」 -リズムに合わせて 踊ろう (国2:3)	「はるのあそび」 -リズムに合わせて 踊ろう (国2:3)	「はるのあそび」 -リズムに合わせて 踊ろう (国2:3)
ポイント4	「あいうえおであそぼう」 -ひらがな (国2:3)	「はるのあそび」 -リズムに合わせて 踊ろう (国2:3)	「はるのあそび」 -リズムに合わせて 踊ろう (国2:3)	「はるのあそび」 -リズムに合わせて 踊ろう (国2:3)	「はるのあそび」 -リズムに合わせて 踊ろう (国2:3)

「週案(例)」を作成する際に意識したポイント

	スタートカリキュラムとして大切にすること
ポイント1	○朝の会から1時間目を連続した時間とし、幼児期に親しんできた遊びや活動、交流する活動などを位置付け、楽しい気持ちで1日がスタートするように1週間の時間割を計画する ○児童が安心して学校生活を楽しむことができるように、一定の期間は同じ学習内容を繰り返す連続性と、少しずつ内容が高まっていく発展性を意識する
ポイント2	○児童の思いや願いの実現に向けた主体的な学習がつながっていくように、1週間の時間割を計画する ○生活科を中心に、つながりのある他教科等のねらいを考えながら合科的・関連的な指導を行う ○思いや願いの実現に向けた主体的な学習活動をゆったりとした時間の中で進めていけるように、2時間続きなどの学習活動を位置付ける
ポイント3	○入学当初の児童の学習に対する期待感を生かし自覚的な学びにつなぐために、教科等の学びの時間を1週間の時間割に位置付ける ○児童の学習意欲が続いていくように、他教科等の指導の際に生活科との関連を意識する ○入学当初の児童の発達の特性に配慮し、10分から15分程度の短い時間を利用して時間割を構成したり、具体的な活動の伴う学習活動を位置付けたりする
ポイント4	○入学当初の児童の発達の特性に配慮し、午後の時間は具体的な活動の伴う学習活動を位置付ける ○1日の終わりに、明日への期待感を高める活動を設定する

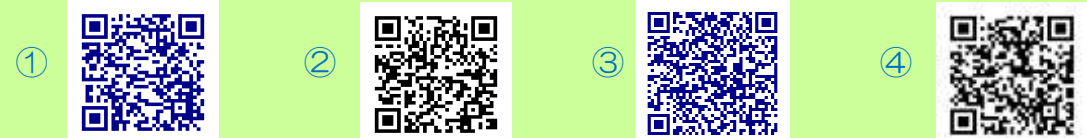
・単元配列表、合科的・関連的な指導について(発達や学びをつなぐスタートカリキュラム 文部科学省) QRコード



○生活科を中心とした単元配列表を作成し、それを基に週案を作成しましょう。
○幼児教育で育まれた発達と学びを、小学校教育へ円滑につなげていけるような取組を推進していきましょう。

文部科学省・山梨県の教育施策情報の参考資料

- ① 発達や学びをつなぐスタートカリキュラム
- ② スタートカリキュラムスタートブック
- ③ 小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 生活編
- ④ やまなしの幼児教育(スタートカリキュラムについて)



下のQRコードからスマートフォン等で閲覧することができます。①～③(pdf)はダウンロードできます。④は山梨県の教育施策情報の提供サイトを閲覧できます。